

生涯学習センター費・学校施設開放事業に関する評価結果の概要

部課名	生涯学習部 生涯学習総務課 文化スポーツ振興部 スポーツ振興課	事業名	生涯学習センター費 学校施設開放事業	トピックス	学校開放
総合評価	一部改善すべき	評価コメント	・事業の目的や、目標としている姿は適切なものである。 ・利用を前提とした既存の利用方法だけでなく、個人でも利用できる仕組みや、予約システムの導入についても検討する必要がある。 ・受益者負担の導入についても検討していただきたいが、その際は子どもや地域への配慮が必要である。		

改善プログラムにつながる意見

【議論のポイント1】 市民のための 学校の活用方法や 利便性の向上につ いて	コーディネーターによる まとめ	より多くの市民が学校施設を利用しやすくするためには、個人利用の検討やイベントの開催など、利用方法を見直すとともに、予約状況の可視化・利便性向上のために予約システムの導入を検討してほしい。
	評価人チーム意見	・地域ごと、世代ごとに、利用に関するニーズ調査をするとよいと思う。 ・施設の予約をネットでもできるようにすることで、空き状況が確認できたり、利用料金を取ることになった際に便利になると思う。また、既存の施設案内予約システムで調理室などを利用している人向けの周知にもつながるのではないかと。 ・団体利用だけでなく、個人利用を進めることや、不定期にイベントを開催することにより、利用率向上につながると思う。たとえば、今後、新たな取り組みとして特別教室などを個人利用の自習スペースとして開放することも検討してはどうか。 ・今後も、多くの市民が学校施設を開放利用しやすくするため、施設予約の枠を整理するなど、利用ルールの見直しも検討してほしい。
【議論のポイント2】 「学校開放」実施に あたっての公平性 について	コーディネーターによる まとめ	学校施設を、教育に支障のない範囲で持続的に開放していくためには、利用料金を徴収することや、徴収方法について検討してほしい。
	評価人チーム意見	・受益者負担について検討を進める必要があると考える。 ・料金設定については、学割や地域の方については割引をするなど、子どもや地域への配慮が必要だと思う。 ・有料化するにあたっては、キャッシュレスにすることで、利便性も向上すると思う。 ・オンライン予約と合わせて利用料金の支払いができるようになった場合は、ポイント制などを導入してはどうか。

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

利用者の利便性や施設のセキュリティ向上に向け、一部の学校で予約システムやシステムと連動したスマートロックを試行し、他の学校への導入拡大を目指します。
また、利用のニーズを把握するとともに、学校施設を活用して個人が参加できるイベント・教室などを開催するなど、多くの方に利用していただくための検討を進めます。

改善プログラム

No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【予約システムおよびスマートロック導入による利便性向上】 利用者の利便性向上などを目的に、予約システム及びスマートロックを試行導入し、その運用や効果を検証する。	試行・検証	－ (2025年3月)	検証終了 (2027年3月)	2校で試行・検証中 (2026年3月) 【改善進行中】	忠生第三小学校及び図師小学校の2校において、2025年8月から予約システムによる施設利用の予約受付を開始した。 また、予約システムと連携したスマートロックを設置し、9月から運用を開始した。	
2	【利用単位の見直し】 多くの方に利用機会を提供できるよう、利用単位(時間)や一ヶ月当たりの利用上限数の見直しを試行・検証する。	利用単位に関する ルールの見直し	－ (2025年3月)	見直し完了 (2027年3月)	利用単位に関する ルールの見直し中 (2026年3月) 【改善進行中】	忠生第三小学校及び図師小学校の施設利用に係る予約システムの導入に当たり、利用団体からの意見や利用状況等を踏まえ、校庭は4時間単位、体育館は1時間単位で予約可能な設定で9月から試行を開始した。	

改善プログラム							
No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
3	【イベント等の実施】 学校施設が利用できることを広く知ってもらうため、学校の空いている時間帯に、個人でも参加できるイベントやスポーツ教室等を一部の学校で実施する。	イベント・教室等の 試行	－ (2025年3月)	実施 (2025年7月)	実施 (2026年3月) 【改善済み】	学校施設を活用し、2026年2月に図師小学校、3月に忠生第三小学校でイベントを実施し、学校施設が利用できることを周知した。 図師小学校では、工作のワークショップを体育館で実施し、49名の参加があった。 忠生第三小学校では、木曽地区協議会と連携して学校や地域の史跡等を巡るスタンプラリーを協議会主催により実施し、約140名参加があった。 ※地区協議会・・・地区の特性と資源をいかして、地区の課題を自ら解決し、さらに魅力発信や向上に主体性を持って取り組む団体同士のネットワーク	
4	【ニーズの調査】 利用に関するニーズを把握するため、イベント等を実施した学校など、その地域の方々に対してヒアリングを実施する。	ヒアリング の実施	－ (2025年3月)	実施 (2025年7月)	実施 (2026年1月) 【改善済み】	2026年1月の「町田ちょこっとアンケート」の他、忠生第三小学校及び図師小学校でのイベント実施時にアンケートを行い、「学校でしたいこと」「利用したい施設」等、学校施設の利用に係るニーズ調査を実施した。 今後、把握したニーズを踏まえ、個人利用や受益者負担の導入に向けた検討を進めるとともに、予約システムの導入校拡大等、利用者の利便性向上を図る。	

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

他の公共施設との公平性、事業継続に係る財源確保の観点から、2027年に予定している「まちだ施設・案内予約システム」の更改を視野に、受益者負担及びキャッシュレス決済の導入を検討します。検討にあたっては、教育施設であることを踏まえたうえで、利用者の利便性、徴収の効率化、年齢や地域活動の継続に配慮した金額の設定等について整理します。

改善プログラム

No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【無料施設における受益者負担の検討】 現在利用料金を徴収していない学校施設について、公平性の観点から受益者負担の導入を検討する。	受益者負担導入の検討	－ (2025年3月)	検討完了 (2027年3月)	受益者負担導入の検討中 (2026年3月) 【改善進行中】	学校施設の地域利用(学校開放制度等)における使用料徴収の有無や金額などについて、近隣自治体の運用状況を調査した。 また、「受益者負担の適正化に関する基本方針」の改定や、現在、使用料を徴収している体育館空調や町田第一中学校の特別教室との整合など、受益者負担の導入にあたって整理すべき事項について検討を進めた。	
2	【キャッシュレス決済導入の検討】 現在利用料金を徴収している学校施設等について、利便性向上の観点から、キャッシュレス決済を導入する。	キャッシュレス決済導入	－ (2025年3月)	導入完了 (2027年3月)	キャッシュレス決済導入検討中 (2026年3月) 【改善進行中】	受益者負担の導入検討と併せて、利用者の利便性や予約システムとの連携などを考慮し、利用可能なキャッシュレス決済の種類や方法について検討した。	